

青少年委員だより

知恵を絞り、今できる活動を…

第155号



写真は平成30年江戸川区民まつりでの活動写真



「ウイズ コロナ」の中で

江戸川区青少年委員会

会長 川島 英夫

オリンピック・パラリンピックが延期となった2020年、新型コロナウイルス感染症の影響で、今期、私たち青少年委員会（新任10名を含む計57名）は、丸2ヶ月遅れでのスタートとなりました。

今期の活動方針として、「地域の青少年が郷土に愛着を持ち、感謝の気持ちでお互いを支え合っていく環境づくり」を掲げました。青少年委員一同、この活動方針を目指し、活動して参ります。

しかしながら、今期は新型コロナウイルス感染症の影響で、青少年委員会活動も思いどおりには進まない日々が続いている状況です。この事態の中、私たち青少年委員に何ができるのかを考え、知恵を絞り合い、新しい形を模索しながらの活動になっていくと思いません。

この春、小学校、中学校の新年度開始が遅れたことにより、夏休み期間が短縮となりました。また、様々な学校行事が中止となり、子どもたちの成長の糧となる機会や笑顔が増える場面が減ってしまい、残念でなりません。この悔しさをエネルギーとして、新型コロナウイルス感染症の収束までの日々を耐え抜き、再び子どもたちの笑顔に寄り添いながら活動できることを願うばかりです。

私たち青少年委員は、これからも地域関係団体と協力し、各委員のこれまでの経験や得意分野、特技等を活かしながら、青少年が健全に育まれる地域環境を目指して積極的に活動して参ります。今後とも、どうぞご理解、ご協力、ご支援をいただけますようお願いいたします。

(令和2・3年度)
地域活動の推進者・青少年委員

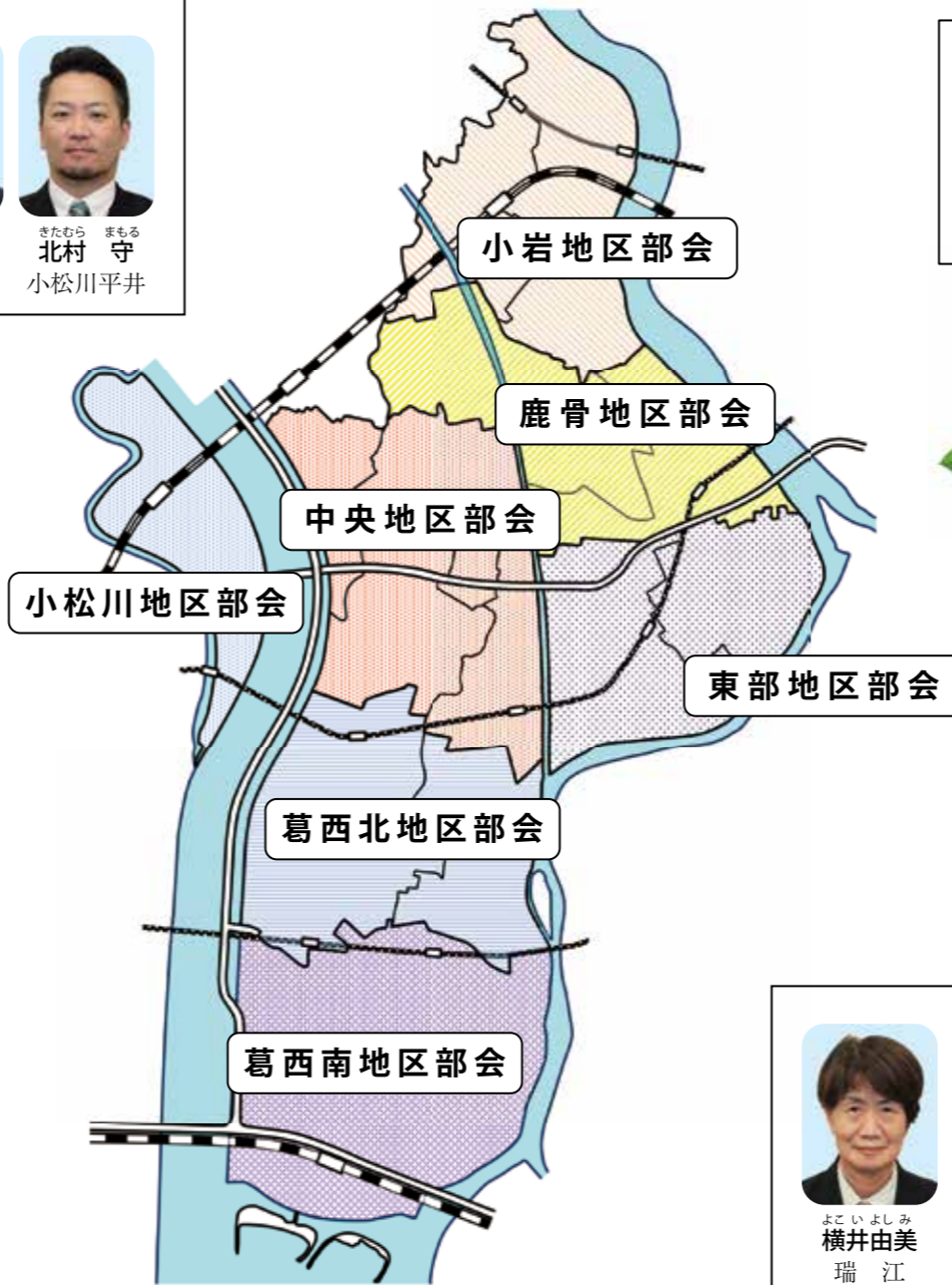
小松川地区部会 (7名)



中央地区部会 (11名)



葛西南地区部会 (8名)



小岩地区部会 (8名)



鹿骨地区部会 (6名)



東部地区部会 (8名)



葛西北地区部会 (9名)



青少年委員会

◆活動方針◆

江戸川区青少年委員会は地域の青少年が郷土に愛着を持ち、感謝の気持ちでお互いを支えあっていく環境づくりを目指していきます。そのためには委員一人ひとりが地域での活動において持てる力を発揮し、家庭・学校・青少年育成地区委員会・行政と緊密に連携していくことが大切です。地域の未来を担う青少年と正面から向き合い、より良いかたちで青少年が前進していけるよう、すべての青少年教育機関及び関係諸団体と協力して青少年育成活動を進めていくことを基本方針とします。

◆◆重点目標◆◆

- 青少年が地域に愛着を持ち、次代の地域社会を担う人材となるよう、多様な活動機会や場作りに積極的にかわり、地域活動に貢献できるように支援します。
- 学校及び青少年の拠点となる施設がより豊かな子どもたちの成長の場となるよう、そのさらなる充実に向けて必要な活動を行います。
- 青少年育成地区委員会との連携を図りながら協力し合い、その中核として地域諸団体等への情報発信に努め、より効果的な健全育成活動を進めることができる環境を整備します。
- 委員活動を推進するために研究グループ活動を充実させ、より実践的な研修等を行い、自らの資質の向上を図ります。

青少年委員とは

地域の青少年を健やかに育てるために、区内17の青少年育成地区委員会の推薦をうけ、江戸川区から委嘱された区の非常勤職員です。同時に地域の青少年活動を援助する有志活動家でもあります。

青少年委員会とは

江戸川区から委嘱された青少年

委員が集まり、自主的に青少年委員会を組織しています。

青少年委員会では、月例の定例会や各地区部会（小松川・中央・小岩・鹿骨・東部・葛西北・葛西南）を開催し、また委員各自の研究課題に基づいたグループ活動などを通じて、委員相互の連絡や情報交換、研修・各種調査研究を行い、青少年委員としての資質の向上に努め、地域に密着した青少年の育成活動を心がけています。

会	書	副部
計	記	長
山	相	高
本	川	梨
貞	美	芳
一	智	明
		子

令和2・3年度 研修部員

会	書	副部
計	記	長
山	井	岡
本	上	田
祐	は	安
子	る	希
	な	津

令和2・3年度 広報部員

会	書	副会
計	記	長
森	金	笠
口	子	井
安	清	雅
子	子	世
		子

令和2・3年度 役員

青少年委員だより

発行 江戸川区青少年委員会
編集 広報部
連絡 江戸川区文化共育部
健康育成課育成活動支援係

☎ 03(5662)0357



新型コロナウイルス感染症の影響を受け、活動自粛の状態の中、新しい期が始まりました。

当面は子どもたちと直接関わる活動が行えない状況で、今期の「青少年委員だより」の記事は大きく変わることになります。

次号では、私たち青少年委員がこれまで行ってきた活動や培ってきた研究から、青少年育成活動を行っている方々へ、少しでも役に立つ内容を紹介していきたいと思えます。どうぞよろしくお願いたします。

広報部一同

あとがき